

■開催趣旨

もし災害がおこって避難生活を強いられたとき、地域の人と協力し、限られたモノや道具を工夫しながら、とりあえずの生活を送るためスキルやマインドを養うキャンプの実施

■期日

2016年10月22日（土）16:00～20:00（4時間）

■会場

芦屋市浜風小学校 体育館

■参加者

129名（子ども73名、子ども会育成者26名、防災士7名、小地域福祉推進員12名、消防士1名、校長先生1名、地区社会福祉協議会3名、青年リーダー6名）

■概要

被災生活に負けない心と技を培う機会として、ダンボールを利用した寝床づくりやみんなで協力して非常食の調理、食事をするを通じ、もしもの避難生活を送るための知恵と工夫を身につけた。

■実施スケジュール

時間	内容
	災害時に役立つ技を見る・技を磨く
16:00	・ダンボールで避難所づくり
16:30	・非常食調理&試食
17:30	・防災絵本読み聞かせ ・阪神・淡路大震災の体験談 ・避難経路を考えよう

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 芦屋市子ども会連絡協議会 守上三奈子
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 青年リーダー6名
浜風地区小地域福祉ブロック会議実行委員・防災士 20名

■会場の様子



語り部



災害時に役立つ技を見る



災害時に役立つ技をみがく



災害のりきりごはんを食べる

■ 防災キャンプに参加してのこどもたちの感想

- ・ダンボールで敷居をたてたり、ベッドをつくったり、難しそうだったけど、意外と簡単ですぐにできた
- ・アルファ化米はお湯を入れるだけで、いつも食べてるご飯とおなじくらいおいしかった
- ・体育館は広く見えたけどみんなで食べる場所をつくるといっぱいになった